

経営比較分析表（令和6年度決算）

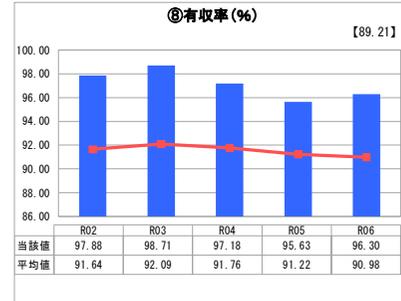
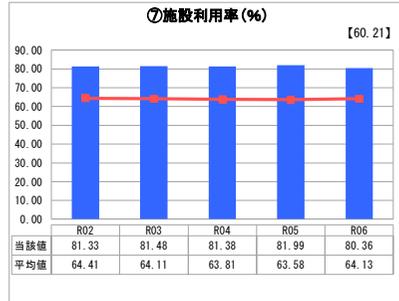
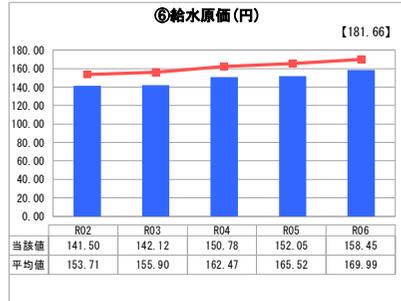
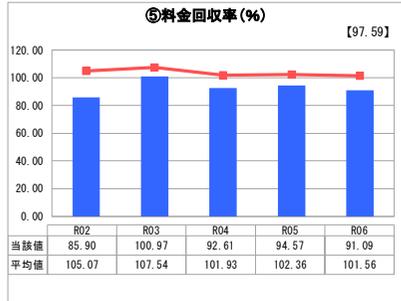
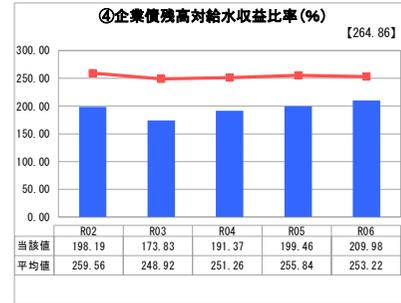
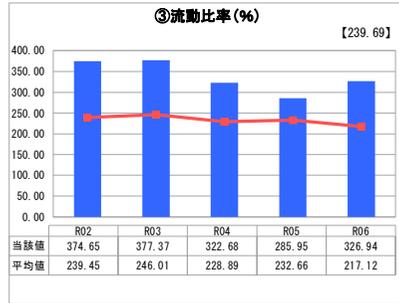
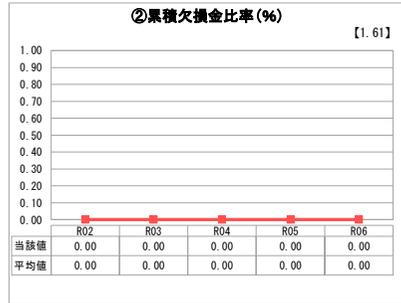
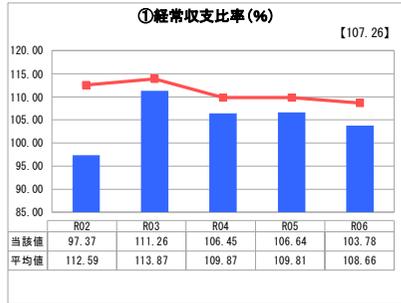
埼玉県 所沢市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)	
-	80.34	100.00	2,134	

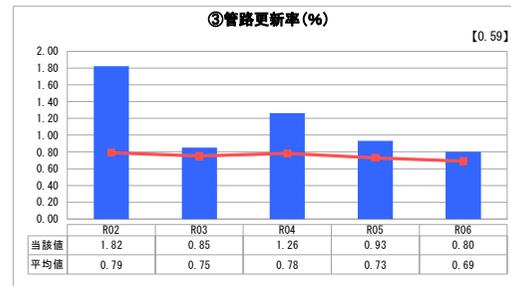
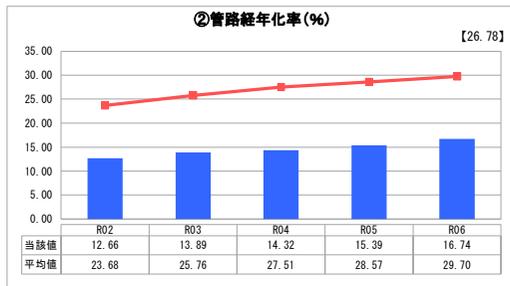
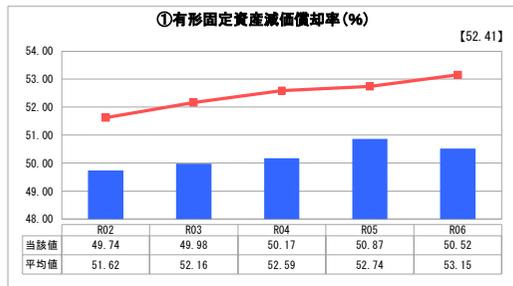
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
342,520	72.11	4,749.97
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
342,280	67.64	5,060.32

グラフ凡例
■ 当該団体の値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
数値は100%を上回り、経営の健全性を保っています。給水収益の減少に加え、人件費や物価の高騰に伴い費用が増加したことから、前年度と比較し指標が低下したものです。

②流動比率
数値は200%を上回り、支払能力はあるといえます。

④企業債残高対給水収益比率
類似団体平均と比較すると、良好な状況です。しかし、水需要の減少により給水収益が減少する一方、人件費や物価の高騰に伴う事業費の増加に加え、施設の更新需要も増加傾向のため、今後も上昇していく見込みです。

⑤料金回収率・⑥給水原価
有収水量及び給水収益の減少に加え、物価高騰等の影響による支出の増加により、数値が悪化したものです。

⑦施設利用率
類似団体平均と比較すると、良好な状況ですが、一日平均配水量は減少傾向のため、施設のダウンサイジング等、水道施設の規模の適正化が必要です。

⑧有収率
類似団体平均と比較すると、高い有収率を確保しており、良好な状況です。しかし、経年的にやや下降傾向で推移しているため、計画的に更新を実施し、経年劣化による地下漏水の発生防止に取り組む必要があります。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
使用年数が法定耐用年数の5割程度を経過している状況です。事業費の平準化を図りつつ、計画的に更新していく必要があります。

②管路経年率
計画的な管路の更新を行っているため、類似団体平均と比較すると、老朽化の度合いは低い状況です。しかし、値は増加傾向のため、着実に更新を進める必要があります。

③管路更新率
類似団体平均と比較すると、更新投資は多い状況にあり、当市の有収率の高さに繋がっていると考えられます。一方、管路経年率は上昇傾向にあり、経年劣化・老朽化が進行しているため、引き続き計画的な更新に取り組む必要があります。

全体総括

令和6年度は、経常収支比率及び流動比率から、事業経営は概ね健全であり、支払能力も十分にあるといえます。

しかしながら、人件費や物価の高騰等により、工事費や維持管理費等の経費が増加したことに加え、有収水量の減少により給水収益が減少したこと、複数の指標の値が悪化傾向となっており、今後もこの傾向が続くことが見込まれるため、収益を改善する必要があります。

施設については、老朽化の進行が続いていることから、財政状況を踏まえながら、引き続き計画的に更新を進めていくとともに、水需要の減少に応じたダウンサイジング等の施設規模の適正化による支出の見直し等に取り組むこと、将来に渡り安定供給に努めていく必要があります。

経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県所沢市 市民医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	6	-	ド訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
342,520	6,246	非該当	非該当	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

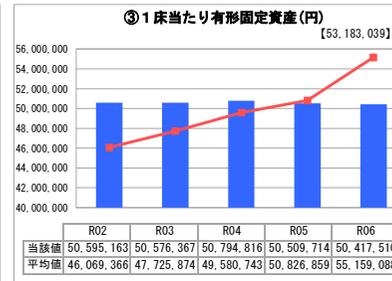
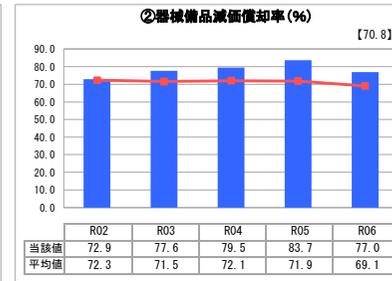
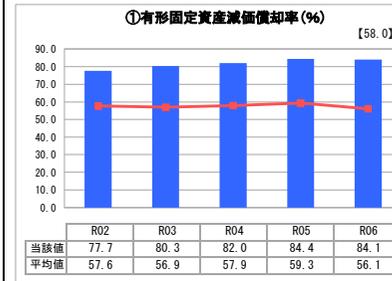
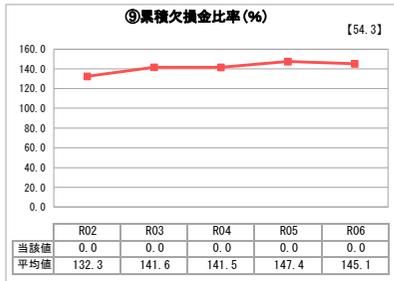
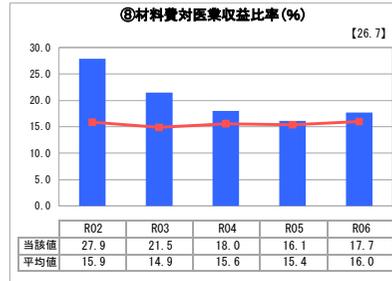
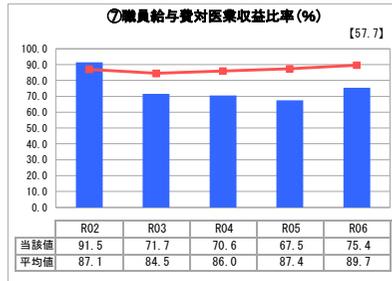
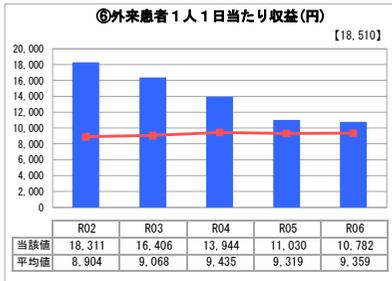
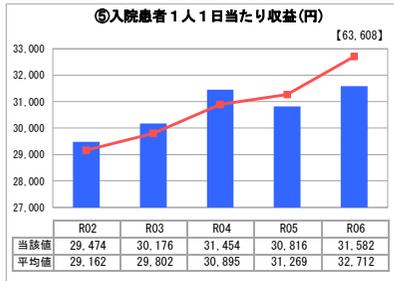
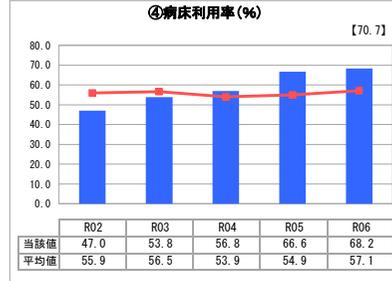
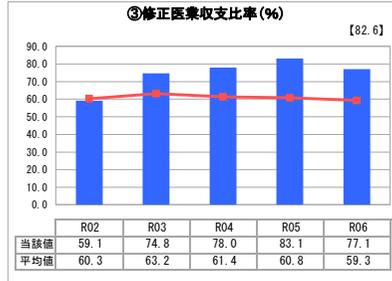
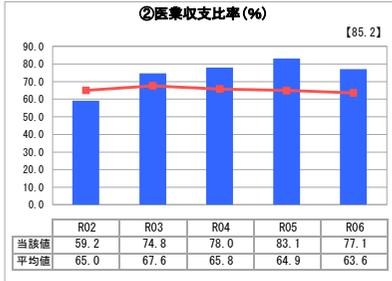
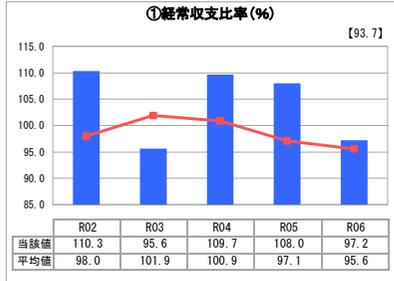
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
49	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	49
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
42	-	42

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の取組・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

埼玉県西部にある当センターの果たすべき役割として、在宅医療の後方支援、所沢地区での第二次救急医療体制の病院群輪番制への参加、医師会やその他医療機関の協力により1年365日対応可能な小児初期救急医療体制の維持、健診事業による市民の健康保持、増進への貢献があります。また、地域での回復期機能病床の不足解消に向けて平成30年11月より急性期機能病床の一部を地域包括ケア病床機能に転換しました。また、令和5年8月より地域包括ケア病床を11床から13床に増床し、より一層の活用を図ったことなどから入院患者数が増加しました。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、医業収益の減少に加え、給与費、材料費、経費が大幅に上昇したことにより、前年度比10.8ポイント減となりました。経常収支比率は、健全経営の水準とされる100%は下回りましたが、類似病院平均値を上回る結果となりました。② 医業収支比率は、インフルエンザ等の感染症の大きな流行がなく外来収益が大幅に落ち込み、前年度比6ポイント減となりましたが、類似病院平均値を上回る結果となりました。③ 病床利用率は、近隣の急性期病院や介護施設と連携を深め、積極的に入院患者を受け入れたことなどで、前年度比1.6ポイント増となりました。また、令和5年8月より地域包括ケア病床を11床から13床に増床し一層の活用を図っていることから、病床利用率は、類似病院平均値を上回る結果となりました。

2. 老朽化の状況について

①②については、いずれの項目も類似団体の数値を上回っており、施設の老朽化が進んでいると云えます。当センターは築49年を経過し、周辺設備も含め老朽化が進んでおり、①有形固定資産減価償却費率が高くなっている要因の一つとなっています。施設の老朽化が進み修繕に係る費用も増加傾向にあるため、施設の整備など適切な対策を講じていくことが必要です。② 器械備品減価償却率については、保守や修繕などの維持管理に努めた結果、長い期間使用することとなり、上昇傾向にあります。

全体総括

本年度は、外来収益が大幅に減少したことなどで、経常収支比率・医業収支比率がともに前年度から後退しました。しかしながら、近隣の急性期病院や介護施設と連携を深め、積極的に入院患者を受け入れるなど、病床利用率の維持、改善に努めました。病院事業の経営にあたっては、物価上昇などを背景に厳しい状況が続くことが想定されますが、夜間小児初期救急受入体制の整備や高齢者の搬送困難患者救急受入体制の強化など、公立病院として地域の中で必要とされる役割を、安定的、継続的に果たすとともに、医業収支の改善を図るよう引き続き努めていきます。

経営比較分析表（令和6年度決算）

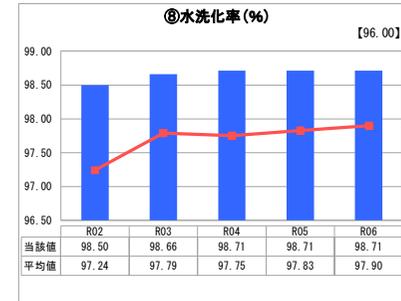
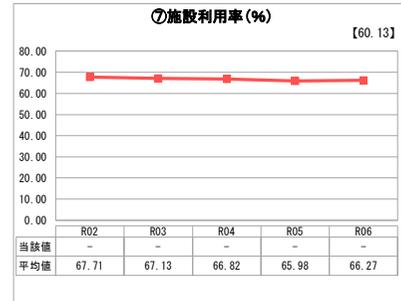
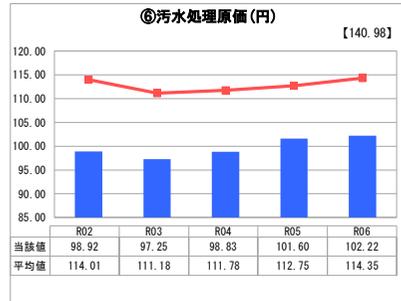
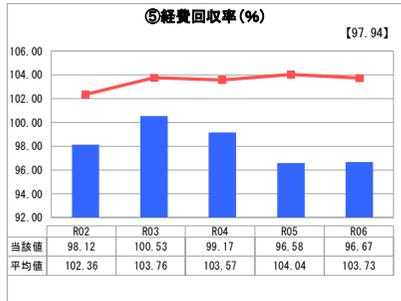
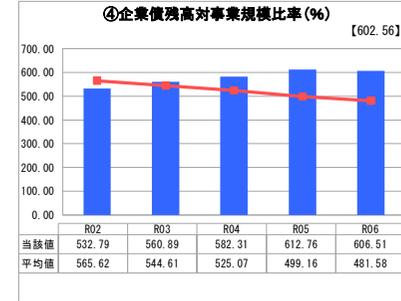
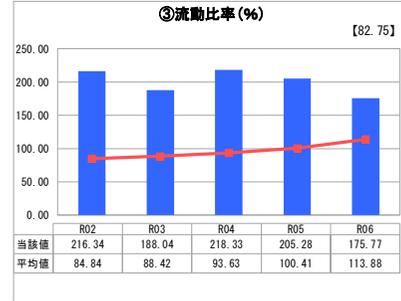
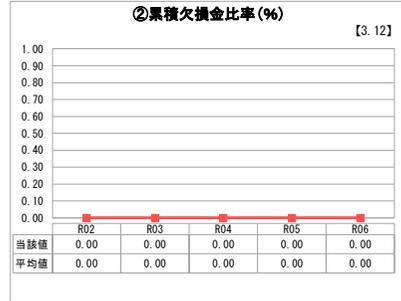
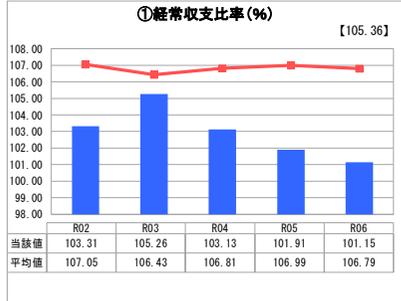
埼玉県 所沢市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ab	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	76.16	95.36	93.81	1,639

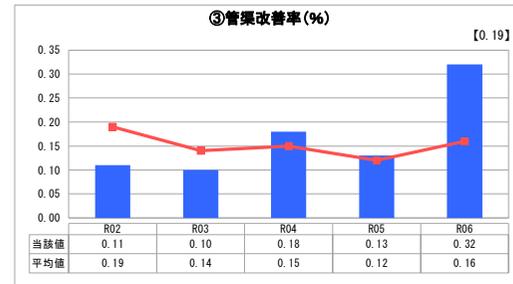
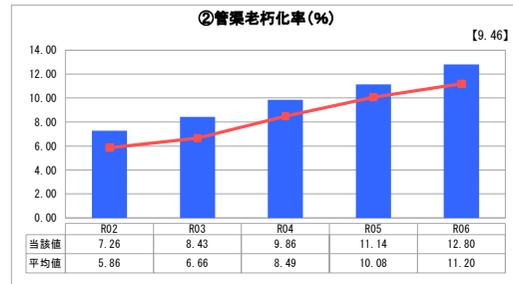
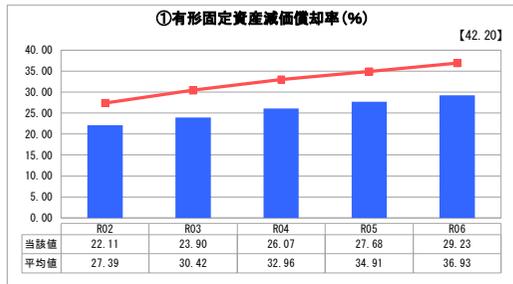
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
342,520	72.11	4,749.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
326,416	33.56	9,726.34

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
 数値は100%を上回り、経営の健全性を保っていますが、一般会計からの基準外繰入（汚水処理費赤字補填分）を行っています。この繰入は令和6年度で終了となるため、自己財源の確保と支出の削減等、より一層の経営改善が必要です。

②流動比率
 数値は100%を上回り、短期的な負債を現金等で賄うことができるだけの支払能力はあるものの、昨年度と比較すると減少しており、引き続き自己資金の確保が必要です。

④企業債残高対事業規模比率
 人件費や物価の高騰による経費の増加に加え、管渠の更新需要の増大に伴う工事費の増加により、企業債残高は増加傾向にありましたが、昨年度と比較するとやや改善しました。また、類似団体と比較すると、値は高いため、企業債の適正な借入が必要です。

⑤経費回収率
 数値は100%に達しておらず、汚水処理に係る費用を下水道使用料収入で賄っていない状況です。物価高騰に伴う材料費の高騰や、管渠の老朽化に伴う緊急修繕、減価償却費の増加等により、汚水処理費が増加したことが主な要因です。

⑥汚水処理原価
 類似団体平均を下回っているものの、汚水処理費の増加により数値が悪化傾向にあります。

⑧水洗化率
 横ばいの状態が続いているため、継続率向上に向けて、引き続き水洗化の促進活動に取り組む必要があります。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
 類似団体平均を下回っているものの、管渠の老朽化が進行しており、数値が上昇傾向にあります。老朽化対策に向けて、施設の点検・検査により現状の把握に努め、施設の安定稼働に向けた取組が必要です。

②管渠老朽化率
 類似団体平均と比較すると、高い水準にあり、数値が上昇傾向にあります。今後も上昇が見込まれるため、老朽化の状況を把握しながら、緊急度の高い管渠について、計画的に更新を進める必要があります。

③管渠改善率
 所沢市下水道ストックマネジメント計画に基づき老朽化対策を実施していますが、管渠の老朽化が進行しているため、引き続き、管渠の更新を進める必要があります。

全体総括

令和6年度は、経常収支比率及び流動比率から、事業経営は概ね健全であり、支払能力も十分にあるといえますが、経費回収率は100%を下回っている状態です。

また、管渠の老朽化が進行しており、施設の更新需要が高まっています。今後は、人件費や物価の高騰の可能性を鑑み、財政状況を踏まえながら計画的に更新を進めていく必要があります。

引き続き、自己資金の確保と支出の見直し等の経営改善に取り組みつつ、使用料改定等による収益の改善を行い、中長期的な財政状況の把握に努める必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。